

発行・編集 (公財)あしたの日本を創る協会／全国生活学校連絡協議会 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町7番1号 日本青年館  
TEL: 03-5772-7201 FAX: 03-5772-7202 E-mail: ashita@ashita.or.jp URL: http://www.ashita.or.jp/

### 内閣総理大臣表彰!! 全国生活学校連絡協議会 消費者庁・平成25年度消費者支援功労者表彰

全国生活学校連絡協議会が、このたび、「消費者支援功労者表彰」の内閣総理大臣表彰を受けました。この賞は、消費者庁が「消費者利益の擁護・増進のため各方面で活躍している団体、個人」を表彰するもので、消費者庁の創設に伴い、平成23年度から内閣総理大臣表彰を筆頭とする表彰制度です。今回、この内閣総理大臣表彰の団体部門に全国生活学校連絡協議会が輝いたものです。

表彰理由としては、「震災復興支援を全国運動のテーマに掲げ、『ひまわりアクリルたわし』を販売。売上を仮設住宅居住者に還元する支援を全国の生活学校で展開した」ことなどがあげられています。

全国生活学校連絡協議会がこのような表彰を受けるのは、「レジ袋減らし隊」全国運動で、平成21年に環境大臣賞を受賞したのに続き、二度目となります。なお、表彰式は、5月27日に都内で行なわれ、金山富士子会長が出席しました。

ここで、生活学校運動の活動の歩みやこれまでの活動の成果を簡単に紹介してみます。

生活学校運動は、昭和39年に誕生しました。この運動が生まれた背景には、当時の消費者に関する動きが、「賢い消費者になろう」という学習や反対運動



震災復興支援活動などにより内閣総理大臣表彰

が中心であったなかで、単に学習や反対だけではなく、「毎日、生活をしていく中で、感じた疑問、問題を取り上げ、その問題点を学習、調査し、行政や企業と話し合い、その解決をはかること」をめざしていました。もう一つは、当時の女性の社会参加をはかるという目的もありました。活動にあたっては、事前活動—対話集会—事後処理活動という活動のしくみも編み出されました。

以来、50年にわたり、次ページにあるような活動が全国各地で行なわれてきました。今後とも、地域と全国の両輪で活動に邁進していきましょう。

#### 生活学校運動の主な動き、活動成果 ..... 2 協会からのお知らせ

- 「新しい地域課題」への取り組みに助成します ..... 3
- 全国活動「震災復興支援活動」に助成します ..... 4
- 生活学校相談室専用フリーダイヤルを開設しました ..... 5
- メーリングリストを開設しています ..... 5

#### 生活学校の活動紹介

- つながり合うまちづくり  
広島県 福山市金江生活学校 ..... 6

#### 全国生活学校連絡協議会からのお知らせ

- 「風評被害」「食品ロス」に取り組みませんか ..... 7
- 春の叙勲 旭日双光章  
宮城県 祝前清美さん ..... 8

## 生活学校運動の主な動き

### 昭和39年 生活学校運動の誕生

- ・消費者(生活者)が毎日、生活をしていく中で、感じた疑問、問題を取り上げ、その問題点を学習、調査し、行政や企業と話し合い、その解決をはかる
  - ・女性の社会参加をはかる
- ことを目的に発足



### 昭和44年 第1回生活を守る全国婦人対話集会在開催

- ・これ以降、生活学校運動の全国大会が開催される

### 昭和50年 全国生活学校連絡協議会が結成

### 昭和54年 NHKテレビ「くらしのけいざい」で『生活学校15年』を特集(上の写真)

### 昭和55年 「省資源・省エネ1万世帯生活・地域点検」を作成

- ・省資源・省エネルギーに関する生活、地域点検活動を実施

### 平成21年 「レジ袋減らし隊」全国運動で、環境大臣賞受賞

### 平成25年 全国的な震災復興支援活動などにより、内閣総理大臣表彰

## 主な活動成果

### 昭和40年代～昭和50年代

#### ○ 安全な食品の確保を目指した活動

- ・有害な食品添加物の規制や禁止に向けて活動、食品表示の適正化

#### ○ 休日・夜間診療の実現

#### ○ 禁煙車両の導入、歩道橋の撤去

#### ○ 資源・リサイクル関連の活動

- ・缶飲料の飲み口の改善(プルタブからステイオンタブへ)
- ・過剰包装の追放
- ・家電製品の修理体制の確立
- ・市町村のゴミ分別収集品目の拡大
- ・リサイクル活動(廃食用油回収と手づくり石鹸・不用品交換会)等々



### 昭和50年代～現在

#### ○ 高齢者支援活動

- ・食事会、見守り活動、ふれあいサロンの開催

#### ○ 子育て支援活動

- ・親子の居場所づくり(ホッとサロン等の開催)
- ・「総合的な学習」や「コミュニティ・スクール」の中心的な担い手

#### ○ 商店街の活性化

- 等々



## 「新しい地域課題」への取り組みに助成します

今年度「新しい地域課題」に取り組む生活学校・生活会議を対象に活動経費を助成します。全国の生活学校・生活会議の皆さまの積極的な取り組みに期待します。申請をお待ちしております。

### 1. 対象となる取り組み

- ① 今後、地域点検(事前調査活動等)を実施し、浮き彫りになった地域課題に取り組む生活学校・生活会議
- ② 協会が提示するテーマを参考に、今後、「新しい地域課題」に取り組む生活学校・生活会議

### 2. 申請の方法

申請書に必要事項を記入のうえ、当協会まで申請してください。随時申請を受け付けております。

### 3. 申請内容の審査

当協会では申請内容を審査の上、助成の有無をお知らせします。

### 4. 助成額と送金方法

対象団体には、1団体につき、原則として3万円を助成します。

但し、実施計画により、3万円を超える額を希望される場合は、別途ご相談ください。

### 5. 事業の流れ

- ① 申請書提出:各団体→当協会
- ② 申請内容の審査:当協会
- ③ 決定通知:当協会→各団体
- ④ 助成費の送金(口座振込):当協会→各団体
- ⑤ 領収書の提出:各団体→当協会
- ⑥ 活動の立ち上げ:各団体
- ⑦ 実施報告書の提出:各団体→当協会

### 6. マスコミへのPRをお願いします

「新しい地域課題」への取り組みについては、新聞社等のマスコミに取り上げていただくように、積極的なPRをお願いします。

### 7. テーマについて

これまでの活動のステップアップを中心に、これからの時代に求められる地域課題について、メンバーの皆さままで話し合われるようお願いいたします。なお、以下のテーマを参考に組み込まれても結構です。当協会にもご遠慮なくご相談ください。

#### ① 食品ロスの削減と有効活用

食品ロスを削減して、食品廃棄物の発生を減らしていくこと。生ごみ減量化とフードバンクによる弱者支援。まだ食べられるにもかかわらず廃棄されてしまう食品。

#### ② 高齢者の支え合い活動

高齢者の「助けて～」の声を拾う、地域で最初の相談相手となる。従来の高齢者サロンだけでは拾いきれない高齢者の困りごとを拾い出す。

#### ③ 女性を中心にした防災活動

男性中心の防災対策を、昼間に家庭や地域にいることの多い女性の視点を活かした防災対策へ。

#### ④ 児童虐待防止のため子育てしやすい地域づくり

家族の子育てに対する不安等を軽減する子育て支援活動の充実と虐待を連絡する地域システムづくり。

### 8. 平成24年度の助成状況

全国で、生活学校18、生活会議5、計23団体に對して助成しました。

## 平成25年度 生活学校・生活会議運動全国大会 開催のお知らせ ～「新しい地域課題」への取り組みに向けて～

この大会では、生活学校・生活会議が今後の活動の進め方について研究・協議を行ないます。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

【日時】 平成25年6月26日(水) 13:00～19:00

【会場】 日本青年館(東京都新宿区霞ヶ丘町7-1)

【日程】 13:00～14:25 全体会(開会行事、表彰式、協会事業方針の説明)  
14:45～17:00 分科会 ①生活学校ルネサンス ②子育て支援 ③防災  
17:20～19:00 交流のつどい

## 全国活動「震災復興支援活動」に助成します

当協会では、3年目となります全国活動「震災復興支援活動」への活動経費助成を引き続き行ないます。従来の復興支援活動はもちろんですが、今年の重点活動としては、

### ①「ひまわりアクリルたわし」販売活動

### ②各地に避難している被災者との交流

の支援活動を考えています。助成申請書に必要事項をご記入のうえ、当協会までご提出をお願いします。助成申請書がお手元がない方は当協会までご連絡ください。

**【助成額】** 3万円(上限)

### 【支援活動内容】

#### ①ひまわりアクリルたわし販売活動

#### ②各地に避難している被災者との交流

被災地は遠くて行けないけど、身近にいる被災者の方たちと関わりを持てるのではないか。そんな思いから、地元で避難している被災者の支援活動に取り組んでいる生活学校もあります。

#### 【支援の例1】

移住している被災者を対象にアンケートを行ない現状把握、支援方法の検討をし、様々なニーズに応えた活動。

#### 【支援の例2】

移住している被災者と交流を持とうと地元伝統料理の料理教室を開催。

#### 【支援の例3】

被災地の仮設住宅の方たちを現地に訪問して、自分たちで作った野菜やお米、手作り小物などを手渡したり、おしゃべりなどを楽しむ交流会を実施。

等々皆さまの地元で避難している被災者との交流による支援活動に取り組んでください。

※避難している被災者については、各市役所等担当課にお尋ねください。

### ③義援金を集める活動

(チャリティ・バザー開催など)

### ④被災地製品の販売

(武者せんべい、喜多方ラーメンなど)

### ⑤その他

◎この活動を通して地域で生活学校のこともPRしていきましょう。

### ■ 義援金の送金先口座

#### 【郵便局からの振り込みの場合】

金融機関名 ゆうちょ銀行

口座番号 10020-70930841

振込先口座名義 全国生活学校連絡協議会

※郵便局にある払込通知票をご利用ください。

#### 【ゆうちょ銀行以外からの振り込みの場合】

金融機関名 ゆうちょ銀行

支店名 ○○八(ゼロゼロハチ)

口座番号 7093084

振込先口座名義 全国生活学校連絡協議会

### 現在までの義援金の累計額

**5,672,145円**

(H25.5.15現在)

※皆さまからお寄せいただいた義援金は、協力団体名リストを添えて被災地にお届けしています。

※これまでに2回、計37箇所の仮設住宅等に生活学校メンバーがお届けしました。

※3回目については義援金のお届け先を選定中です。6月頃にお届けする予定です。



## 生活学校相談室専用フリーダイヤルを開設しました

当協会では、生活学校の皆さまから活動や運営などの相談に応じるため、相談室を設けています。相談いただいた内容について、全国の事例などをもとに、生活学校が地域で継続的に充実した活動に取り組めるように、回答や提案等をさせていただいております。

このたび、多くの方からご連絡していただけるよ

うに、相談室専用のフリーダイヤル(電話代無料)を開設しました。どうぞお気軽に相談室までご連絡ください。

生活学校相談室フリーダイヤル  
0120-839-123 担当：徳丸・川越

## メーリングリストを開設しています

当協会では、生活学校・生活会議や、あしたのまち・くらしづくり活動賞受賞団体など、地域活動団体のメンバーの皆さまによる情報交換と、当協会からの情報提供をする場として、2つのメーリングリストを開設しています。

主に、生活学校の皆さま向けには「生活学校井戸端会議」、生活会議の皆さま向けには「まちづくり・生活会議交流ひろば」を開設しています。

参加をご希望の方は、当協会までぜひお知らせください。よろしく申し上げます。

### 参加の方法

#### ①生活学校井戸端会議

ashita@ashita.or.jp 宛にメールをお送りください。件名には「生活学校井戸端会議への参加」、本文にはご氏名、生活学校名をお書きください。

#### ②「まちづくり・生活会議交流ひろば」

ashita@ashita.or.jp 宛にメールをお送りください。件名には「まちづくり・生活会議交流ひろばへの参加」、本文にはご氏名、所属団体名をお書きください。

## あしたのまち・くらしづくり活動賞

地域が直面するさまざまな課題を自らの手で解決して、住み良い地域社会の創造をめざし、独自の発想により全国各地で活動に取り組んでいる地域活動団体・企業等の活動の経験や知恵などのストーリーをレポートとしてぜひお寄せください。震災復興のまちづくりや震災復興支援の活動もご応募ください。

レポート  
募集

### ◆表彰・賞状等の贈呈 (予定)

あしたのまち・くらしづくり活動賞

- |           |       |       |      |
|-----------|-------|-------|------|
| ● 内閣総理大臣賞 | 1件    | 賞状、副賞 | 20万円 |
| ● 内閣官房長官賞 | 1件    | 賞状、副賞 | 10万円 |
| ● 総務大臣賞   | 1件    | 賞状、副賞 | 10万円 |
| ● 主催者賞    | 5件程度  | 賞状、副賞 | 5万円  |
| ● 振興奨励賞   | 20件程度 | 賞状    |      |

### ◆応募の締切

平成25年 7月10日(水)

### ◆問い合わせ

公益財団法人あしたの日本を創る協会

TEL 03-5772-7201

FAX 03-5772-7202

Eメール: ashita@ashita.or.jp

http://www.ashita.or.jp/

## つながり合うまちづくり

広島県 福山市金江生活学校  
代表 小川 都

ねらいは、住む人の誰もがこのまちに住んで良かったと言えるまちづくり、一人でも取り残されることのない、つながり合う地域づくりを目指しての高齢者見守り活動。

まちの人口は8000人弱。8地区の自治集落からなり高齢化率は現在30.7%。街の自治集落すべてに生活学校のメンバーが居住しており、身近なところで人に寄り添う取り組みができることがベストとの考えから、自分の近くの独居高齢者、高齢者のみの世帯、高齢弱者などを対象に支え合いの見守り活動をしている。

活動の方法は、要支援の高齢者の方などを近所の人も加えた2~3人のチームをつくり、連絡し合いながら見守るネットワーク活動の体制づくりである。

取り組む内容は、対象者の話し相手や元気づくりの訪問活動、簡単な買い物の手伝い、ゴミ出し、会合への参加のお誘い、必要な場合の車での搬送。

また、時には手作りで昔の行事食の配布など、日常的な支え合いをする。

また、学区全体での連絡会議をして、困難な事態がある場合は、関係機関につないで対応する方法をとる。この地域に根付いた地道な活動は、無縁社会から助け合いの社会をめざして今を生きる、私たちの目標である。

こうした取り組みをする中で、「地域の人と会うことが少なくなり、人の顔が見られない」「どこの家の子か名前すら分からない」などの高齢者の声



「そうめん流し」でみんなの心がふれあう

を聞き、その思いを取り上げて地域を巻き込んでのふれあい集会をやれば良い、との声が高まった。それはまた、地区住民の考えていることでもあったため、人々がつながり合う世代間交流会が実行された。

幼児から超高齢者まで、世代を超えた人たちが集まった。じゃんけんゲームでは、大人たちも子どもたちも、互いに自己紹介しながら、みんなで名前を知り合った。

イベントの「そうめん流し」をする準備段階では、それぞれの特技を持っている団塊世代の技が活き、昔の遊びを子どもたちに教えている高齢者は活き活きと輝いて、子どもたちの歓声は地域の元気づくりのもととなる。年1回のこのイベントは、地区の絆づくりとしての役割を果たし、より良いまちづくりへとつながっている。



おじいさんもおばあさんもみんなてじゃんけんゲーム



メンバーが手づくり弁当をつくり、配分にまわる

## 「風評被害」「食品ロス」に取り組みませんか



25年度は消費者庁が消費者と事業者との協働支援を目的に、都道府県の「地方消費者行政活性化基金」として予算をつけています。4月中旬に要項が各県に送られ、各県ではそれを受け、調査活動等を希望する団体があれば、その活動費を消費者庁に申請する仕組みになっています。生活学校の活動としてご検討、ご活用ください。

各県に要項が送られる担当課・室にお問い合わせの上、具体的な相談をしてみてください。

なお、「国と地方とのコラボレーションによる先駆的なプログラム」の中より生活学校が取り組みやすいと思われる具体的なテーマを挙げておきます。

### ● 風評被害の防止【具体的取り組み】

- ①消費者と生産者との交流・被災地産品フェアの開催(生産者の取り組み紹介や、被災地産品の放射能測定、即売会等を実施)
- ②商店街等が主催する被災地産品フェア等に対する支援
- ③被災地産品等食品の安全性に関する消費者の理解増進のための事業

### ● 消費者と事業者との協働支援【具体的取り組み】

- ①「食品ロス」に関するシンポジウムの実施
- ②飲食店とタイアップによる「食べきり運動」の実施
- ③食材の使い切り術などを紹介する「料理教室」の実施
- ④地域の特産品などを活用し、かつ、食材の使い切り術を取り入れた「レシピ集」の作成

### 都道府県連絡先

都道府県名	部局 課・室	都道府県名	部局 課・室
1 北海道	環境生活部 暮らし安全局 消費者安全課	25 滋賀県	総合政策部 県民活動生活課
2 青森県	環境生活部 県民生活文化課	26 京都府	府民生活部 消費生活安全センター
3 岩手県	環境生活部 県民暮らしの安全課消費生活担当	27 大阪府	消費生活センター
4 宮城県	環境生活部 消費生活・文化課	28 兵庫県	健康福祉部 生活消費局消費生活課
5 秋田県	生活環境部 県民生活課	29 奈良県	暮らし創造部 消費・生活安全課消費者行政係
6 山形県	環境エネルギー部 暮らし安心課	30 和歌山県	環境生活部 県民局 県民生活課
7 福島県	生活環境部 消費生活課	31 鳥取県	生活環境部 暮らしの安心局 消費生活センター
8 茨城県	生活環境部 消費生活課	32 島根県	環境生活部 環境生活総務課消費と暮らしの安全室
9 栃木県	県民生活部 暮らし安全安心課	33 岡山県	県民生活部 県民生活課
10 群馬県	生活文化部 消費生活課	34 広島県	環境県民局総務管理部 消費生活課
11 埼玉県	県民生活部 消費生活課	35 山口県	環境生活部 県民生活課消費生活班
12 千葉県	環境生活部 県民生活課	36 徳島県	危機管理部 県民暮らし安全局 県民暮らし安全課
13 東京都	生活文化局消費生活部 企画調整課	37 香川県	危機管理総局 暮らし安全安心課
14 神奈川県	県民局暮らし文化部 消費生活課	38 愛媛県	県民環境部 管理局 県民生活課
15 新潟県	県民生活・環境部 消費者行政課	39 高知県	文化生活部 県民生活・男女共同参画課
16 富山県	生活環境文化部 県民生活課	40 福岡県	新社会推進部 生活安全課
17 石川県	県民文化局 県民生活課消費生活グループ	41 佐賀県	暮らし環境本部 暮らしの安全安心課(消費生活センター)
18 福井県	安全環境部 県民安全課消費・生活グループ	42 長崎県	県民生活部 食品安全・消費生活課
19 山梨県	企画県民部 消費生活安全課	43 熊本県	環境生活部 食の安全・消費生活課
20 長野県	企画部 生活文化課消費生活室	44 大分県	生活環境部 県民生活・男女共同参画課
21 岐阜県	県民生活相談センター	45 宮崎県	県民政策部 生活・協働・男女参画課
22 静岡県	暮らし・環境部 県民生活局 県民生活課	46 鹿児島県	総務部 県民生活局 生活・文化課消費者行政推進室
23 愛知県	県民生活部 県民生活課	47 沖縄県	文化環境部 県民生活課消費生活班
24 三重県	環境生活部 交通安全・消費生活課		

25年度 春の叙勲

## 「旭日双光章」 拝受によせて

宮城県生活学校連絡協議会会長 祝前 清美



この度、平成25年度春の叙勲に際し「旭日双光章」拝受の栄に浴し、身に余る光栄と大変恐縮しております。5月10日、首相官邸において伝達式が行なわれ、菅官房長官より勲記勲章が手渡されました。続いて皇居へ参内し、天皇陛下より拝謁の榮譽とお言葉を賜り、感激の極みでございました。これもひとえにあしたの日本を創る協会をはじめ関係者の皆様のご指導と生活学校の皆様のご支援とご協力の賜物であり、感謝の気持ちでいっぱいです。

専業主婦だった私の地域活動のスタートは、子どもの成長とともに携わったPTA活動でした。昭和57年に生活学校を立ち上げ、これまでさまざまな生活課題や地域課題をテーマに取り組んできましたが、特に力を入れてきたのがゴミ問題でした。ですから、平成19年に仙台市でレジ袋有料化が導入された時のことは強く印象に残っています。仙台市民ネットワークの代表として多くのマスコミの前で迎えた調印式と記者発表の時のドキドキを、今、懐かしく思い出しています。

私たちの暮らしを大きく揺るがし、地域のあり方を改めて考えさせられたのが東日本大震災でした。2年以上が経過した現在も、10万人余の方々が仮設住宅や借り上げ住宅での生活を強いられています。私たち生活学校のメンバーにも、それぞれに厳しい現実がありました。そんな中、日創協さんから生活学校として被災地の復興支援活動に取り組めないか、とのお話をいただきました。当時はまだまだ自分たちの足元のことだけで精一杯で、精神的にも物

理的にも動き回れる状況ではありませんでした。しかし、長年にわたって取り組んできた生活学校運動のネットワークを活かした、私たちにしかできない活動があるのではないかと。そんな思いから仮設住宅への訪問支援活動が始まりました。初めは子育て支援。何度も足を運ぶうちに集う人も増え、信頼関係を築けるようになりました。

その交流の中で生まれたのがアクリルたわし「ひまわりの花」です。多くの人たちの努力が実って完成した「ひまわりの花」を見た時の、あの喜びを生涯忘れることはないでしょう。1年間で全国の台所に咲いた3万8千個の「ひまわりの花」。そうしてつながっていく人と人との絆を大切に、これからもメンバーの皆様とともに精一杯努力して参りたいと決意を新たにしています。

本当にありがとうございました。



仮設住宅で小物作りを教える祝前さん

### ファミリーコスロン



交換用フィルター  
(30個)1,000円

#### 油を捨てない オイルポット

ファミリーコスロン  
(フィルター10個付) 3,500円

#### 油をムダなく使う道具

使い方簡単：少し冷めた油を入れ  
継ぎ足し使用するだけ

静岡県生活学校連絡協議会が  
推進しております

<連絡先>

平松 節子

TEL 053-461-6966

FAX 053-461-6969

<http://www.rakuten.co.jp/marugo/info.html>